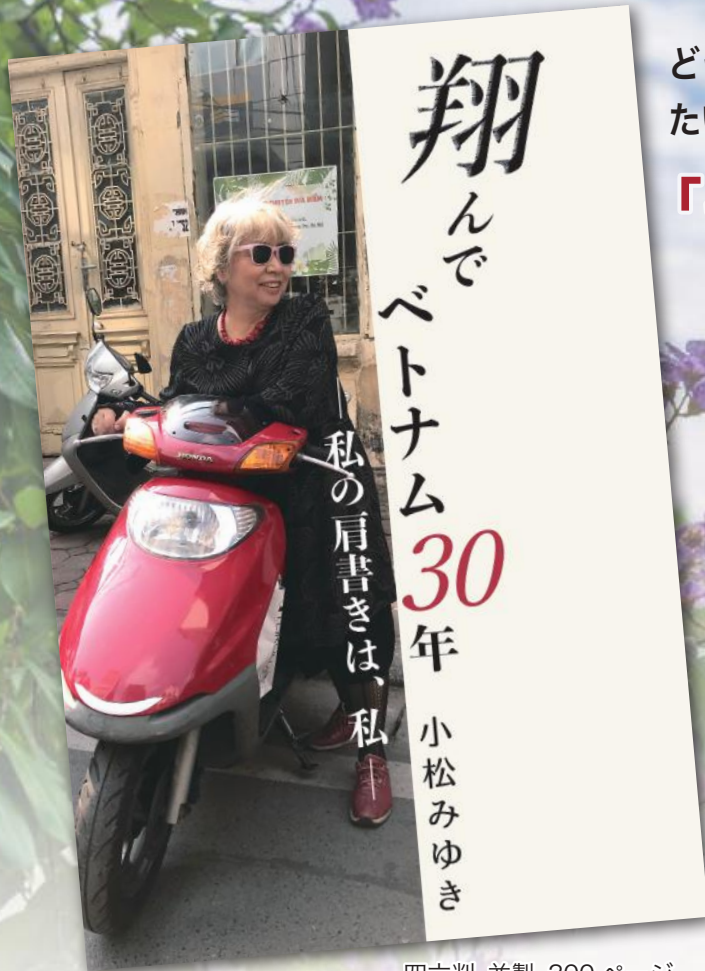




四六判 並製 200 ページ
定価 1,760 円 (本体価格 1,600 円)

どうしてベトナムで30年も暮らしたの？ そこでいったい何をしていたの？ そう問われたら、こう答えよう。

「そこに居場所があったから」

バブル絶頂期の日本を後にして45歳でひとり降り立ったベトナムは、戦争終結からわずか17年という“戦後”の高度成長期前の国だった。覚悟はしていたものの、勝手が違い過ぎて毎日面食らうことばかり。笑うか諦めるしかない日々の中で知ったのは、人とのつながりがすべてなのということ。たくましい人々との交流と人情を活力に、暮らしに仕事に奮闘しながら築いた信頼関係が、新しい人生の扉を開いたのだった。

第二次世界大戦中に日本軍が持ち去ったと思われるベトナムの梵鐘の返還への尽力、日本語を教えていた生徒の「私の父は日本人。いつか父に会える日のために日本語を話せるになりたい」という一言から始まった、離れ離れになった家族探しなど、出会った人々の想いに共鳴するままに動き続けたその軌跡。

そして、故郷の新潟から認知症となった老母を引き取りともに暮らした13年間。そののちに訪れた看取りのときを経て思い至った母の人生と、じぶんについて。自らの生い立ちから、“ベトナムの小松”の血となり肉となったハノイでの30年を振り返る、さわやかにして痛快な手記。

—著者紹介—

小松みゆき



1947年新潟県北魚沼郡堀之内町(現・魚沼市)生まれ。中学卒業後に上京、共立女子短期大学卒。出版社、法律事務所勤務を経て、1992年にベトナムの首都ハノイに日本語教師として赴任。2008年よりベトナム社会主義共和国国営ラジオ局 VOV「ベトナムの声」放送局勤務。

これまでに3冊の著書を出版。
認知症の母親をハノイで介護したエッセイ『越後のBaちゃんベトナムへ行く - ラストライフを私と -』(2B企画 / 2007・絶版)、そして『ベトナムの風に吹かれて』(角川文庫 / 2015年)は、同年に松坂慶子主演による日越合

作映画となった(アルコピクチャーズ)。太平洋戦争後にベトナムに残留し、現地で家族を持ったのちに引き裂かれた日本兵と今も夫や父の帰りを待ち続ける家族を追った『動きだした時計 - ベトナム残留日本兵とその家族 -』(めこん / 2020年)。

天皇后両陛下のベトナムご訪問時に、ベトナムに残された家族を紹介する際の案内役を務めるなど、日本とベトナムの相互理解の促進に貢献した数々の功績により、2017年に外務大臣表彰を受ける。

2022年3月に帰国。東京都多摩市在住。

2025年
10月中旬
出荷開始



発売：そらの子出版
発行：Kフリーダム

発売：そらの子出版 〒191-0016 東京都日野市神明 4-17-26-101 TEL 050-3578-6299 soranoko.co.jp/

注文書		翔んでベトナム 30 年 ～私の肩書きは、私～ 小松みゆき 著 定価 1,760 円 (税込) 本体価格 1,600 円 ISBN978-4-911255-05-6 C0095		
			冊	
			注文日	
			年	
			月	日
			ご担当	
				様

ご注文は JRC へ FAX : 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。